



はとつうしん

No.80 2023. 1. 1 (創刊 1989年7月)

○発行／日高市民生委員・児童委員協議会／日高市大字南平沢1020番地 日高市役所生活福祉課

福寿草

― 幸せを招く ―

写真提供 高麗川地区 小林一夫



新年の挨拶



日高市長 谷ヶ崎 照雄

新年明けましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆さまには、健やかに令和五年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より福祉行政の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年12月に行われました一斉改選により、47名の方が退任されました。退任された皆さまには、これまで地域福祉の推進役としてご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。また新たに厚生労働大臣並びに埼玉県知事からの委嘱を受けた89名の皆さまにおかれましては、これから3年間、地域福祉の向上を図るため、民生委員・児童委員としての活動をお願い申し上げます。

現在、本市におきましては、第4次地域福祉計画の策定準備を進めております。計画の策定にあたりましては、地域住民が抱える複雑化・複合化した課題を行政や専門機関だけでなく、地域全体で支援できる体制づくりを目指してまいりますが、こうした体制づくりには皆さまの活動がますます重要になってまいります。

少子高齢化、核家族化などにより地域のつながりの希薄化が進む今日、委員の皆さまには、地域住民の身近な相談相手として、また、住民と関係機関をつなげるパイプ役として、引き続きご協力をお願い申し上げます。

結びに、日高市民生委員・児童委員協議会の更なる発展と皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

地 区 県 外 研 修



高麗地区
堀口 友枝

10月14日、出発時は小雨でしたが、富士宮市に着く頃には雲の合間から富士山が裾野を広げ、私達を歓迎してくれました。

富士ハーネスは、日本で唯一の盲導犬総合センターです。入口で案内の方に盲導犬がピツタリ寄り添い、迎えてくれました。案内の方は目が不自由ですが、とてもテキパキと説明してくれました。引退犬は、床暖房のあるリビングでくつろぎ、生まれただばかりの子犬は、運動場で走り回っていました。最後に盲導犬のデモンストレーション。曲がり角・障害物・段差などを身体を張って伝えていました。褒めて育てる事は、人間も犬も共通です。車内では、研修用のDVDを視聴したり、委員同士親睦を深めたり、思い出に残るバス研修になりました。



高麗川地区
小岩井 澄子

9月12日、栃木市の蔵の街と、大谷資料館を訪れました。

蔵の街は「小江戸とちぎ」とも呼ばれ、通りには見世蔵や十蔵群などが、昔からの雰囲気を出して並んでいます。実物を出した山車会館、山本有三ふるさと記念館、街を流れる巴波川うづまがわの和舟遊覧船など、二時間の散策をそれぞれに楽しみました。

大谷資料館では、大谷石の採石場跡を案内人の解説を聞きながら歩きました。最深部60メートル、広さ2万㎡という巨大空間は実に幻想的なものでした。行きと帰りのバス車内では、「ヤングケアラーについて」「認知症について」のDVDによる研修を実施しました。大型バス一人二座席使用で、長い車中もゆったりと過ごせ、3年ぶりの楽しく充実した研修でした。



高秋地区
佐野 みつ枝

コロナ禍の今期、最後の年に二ヶ所の施設見学と、車内ビデオ鑑賞のバス研修を行う事ができました。一ヶ所目は首都圏外郭放水路。浸水被害をなくす為に造られた施設です。ここは入口からは想像できない地下50mの所に、全長6.3kmのトンネルから流れてくる水の勢いを、スムーズに江戸川へ流す為の巨大プールになっています。この天井を支える一本50tの柱が59本も立ち並び光景は、正に「地下神殿」そのものでした。

二ヶ所目の県防災センターでは、震度7のゆれの体験、消火器の扱い方、消火の仕方を学び、また火災時に煙から避難する方法を教えてくださいました。災害をなくす事はできないが、自助・共助・公助で「減災」する事ができるという言葉が心に残りました。施設見学とビデオ鑑賞の中身の濃い研修でした。



高麗川地区
西澤 幸美

あんなこと こんなこと

民生委員・児童委員を引き受けて間もなく、自分の事は何でも出来る元気な義母が転倒して骨折したため、突如介護を受ける事になり、行政関係機関の方々に大変お世話になりました。この最初の体験で民生委員・児童委員の役割の大切さを実感することが出来ました。

最近が高齢化および核家族化がすすみ、介護を必要とする人も増え、自治会では高齢のため退会する人もいます。さらに新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いろいろな行動制限により、日常的にストレスや不安を抱えている人も多いと思います。そんな一人ひとりが抱えている様々な問題に、地域の身近な相談相手・行政機関とのパイプ役として、少しでも寄り添って活動したいと思います。

一 育 改 選 を 終 え て



日高市民生委員・児童委員協議会
会長 前嶋 謙一郎

一期3年の民生委員・児童委員の期間を務め、退任されていく方もあり、また、引き続きやってくださる方もありますが、特に、退任された方の長年にわたる民生委員・児童委員活動に携わってきた活動・経験は、次に引き継ぐ者への宝となるものかと思っています。

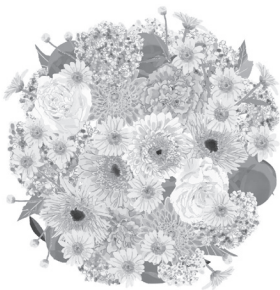
今期の退任者は47名で、約半数の民生委員・児童委員が退任されていますが、この47名の方の長年にわたる活動や経験等を、次の新しい委員にいかにつ

き継ぐかということが、次の3年間の民生委員・児童委員活動の力となるために重要なことではないかと思っています。

現在の社会福祉の状況は、高齢化や問題の多様化など、難しい面が多々ありますが、退任された民生委員・児童委員の皆さ

んの貴重な経験を生かし、新しい民生委員・児童委員の皆さんに引き継いでいくことが、新しい民児協の一員としての、これからの仕事ではないかと思っています。新しい民生委員・児童委員の皆さんについては、住民の良き相談役・見守り役として、あまり無理することなく、自分の背丈で活動するようにお願いします。

退任された委員の皆様、大変お疲れさまでした。健康に気をつけ、先輩として、後任者への良きアドバイスをいただければ幸いです。



高麗地区
藤田 隆

新米民生委員の衝撃の体験

誰にも看取られずに孤独死されたAさんは59歳の男性で、民生委員活動には直接の関わりが無い方だったため一度も面談をせず、お住いにも足を運んだ事のない方でした。

葬儀をするには、市として予算計上し、葬祭費用の免除申請の手続きの書類に、民生委員の押印が必要とのことで、市職員の方が拙宅迄来られました。

翌日、市職員、葬儀社の方と私、宗教儀式者不在の葬儀、茶毘に参列を致しました。

北田会長が折に触れて話されている「繋ぐこと」の大切さ、命の尊さ、日常の情報収集、民生委員の重責、役割について考えさせられる出来事でした。

これからも地域の住民の方に真摯に向き合い、少しでもお役に立てればと思っています。

活動日誌より



高麗川地区
神田 誠治

毎月の活動記録を記入する時、営業マンの日報の様に思えて抵抗がありました。一ヶ月の自分の行動を思い返す良い意味での「教訓改め」になります。報告にあたり、少なすぎると上層部に目を付けられるのではとの思いが募ります。令和元年から令和

4年の今日までコロナ禍の為、いろいろな活動が制限された時期もあり、情報収集、訪問等ができませんでした。くりくり元気体操での近所の人たちの世間話を聞いたり、道端で会った人の話を聞いた事を記録

簿の「訪問その他」の所に記入し、調査実態把握をしたと自分なりに拡大解釈して記入しています。自分の活動に自信が持てないでいる私ですが、活動内容区分例を見ると、皆様は強い意志で社会奉仕の精神をもって社会福祉に努めていると、考えさせられています。

ひとこと



高麗地区
皆川 禮子

二期6年間務めさせて頂きました。一期目は何も理解出来ていないまま定例会・研修会・福祉施設見学等に参加し、今まで知ることの出来なかった知識を多く吸収することが出来ました。また対応に困った時は、常に会長を始め、先輩の委員の皆様にお助け頂きました。感謝しております。

二期目はコロナ感染症禍のため、ほとんど活動が出来ませんでした。地域の皆様には少し顔も覚えて頂き、声かけをさせて頂くことも出来ました。

反省することの多い6年間ではありましたが、楽しく過ごさせて頂きました。

委員の皆様、ありがとうございました。皆様の御健康と御活躍をお祈り致します。



高麗地区
西川 好司

一期3年務めさせて頂きました。民生委員・児童委員を引き受けてすぐに新型コロナが大流行したため、訪問等の活動があまりできませんでした。

当初は、地域の方からの相談への対応、地域ケア会議への参加、社会調査等、多岐にわたる仕事に戸惑いました。

しかし、事あるごとに先輩委員に相談し、丁寧に教えていただきました。さらに、委員同士、コミュニケーションをとりながらお互いに絆を深め、活動をすることができました。

部会では副部長をさせて頂いたとき、仕事の大変さと喜びを同時に味わうことができました。委員の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、3年間大変お世話になりました。



高麗川地区
新 廣明

民生委員・児童委員を退任するに当たり、感想を述べさせて頂きます。

第一に感じたことは、大変楽しかったということです。地域の行事に参加し、子供会の小学生、育成会のお母さん方と交流が出来ました。又、敬老会行事についても高齢者の皆様と触れ合い、深い知識を伝授して頂きました。

第二に大変勉強になったことは、高麗川地区民児協の定例会では、出前講座等で多くの知識を得ることが出来たということです。

第三に感じたことは、部長を経験させてもらい、各地区の皆様は協力を頂き、研修旅行や、年二回の交流会を通じ、大変有意義な部会活動が出来たということです。

最後に、新任の民生委員・児童委員に期待する事は、わからないことは積極的に質問し、自分自身の成長に役立ててほしいということです。大変お世話になりました。



高麗川地区
小林 照子

早いもので、民生委員を引受け、3年が過ぎました。初めは一期3年長いなあと思いましたが、過ぎてみれば、あつと言期間の日々でした。大宮、狭山と新人研修を受講し、実活動になる段階で、何から進めたら良いのか不安だらけでした。まずは担当地域を知る事が先決と考え、地図を広げては散歩で回り、場所を確認しました。次は見守りの方の訪問活動を行いました。初めは素っ気ない態度でしたが、訪問を重ねていくうちに、雑談や困り事等話してくれる様になりました。コロナ禍で行事が中止となつて交流の場が減り、情報が入らず活動が厳しい面もありましたが、どうか3年間務める事が出来ましたのは、民生委員の諸先輩のアドバイスや地域の方々の協力があったること、感謝しております。

から 委員 退任



高萩地区
浅野 隆司

先ずは「大任を終え、ほっとした」が偽らざる心境であります。8年前に委嘱状を頂き、定例会での「信条」唱和。この時、「隣人愛、人格と識見の向上」というハードルの高さに、一瞬戸惑い、驚愕しました。遙か昔（私の脳裏には死語化しつつある）「※ノブレスオブリージュ」という言葉が頭を過りました。果たしてこの先大丈夫？ 一年持つかな？ など不安感と臆病風が吹くような、そんなスタートだったと思います。

※ノブレスオブリージュ
身分の高い者は、それに応じて果たさねばならない社会的責任と義務があること

出会いと別れ 3年間の回想

広辞苑によると、出会いとは「であうこと・めぐりあうこと」別れとは「わかれること・はなれること」と出ている。民生委員・児童委員の3年間はあつと言う間に過ぎる。やる事がいっぱいあるにもかかわらず。振り返り「出会い・別れ」はどうだったか。委員同士、地域の人達とは。思い出すと寂しく、そして反省の念に駆られる。はて私達が常に身近に感じている地域とは何か。

『地域を地域たらしめているのは誰か、そして何か。村を成り立たせているのは村人であり、村人が持っている知恵、共有している知恵です。知恵を持った人が力を発揮することが、ただの人の集まりであるコミュニケーションを、本来の意味でのコミュニケーションにするのだと思います。民生委員・児童委員の役割はそこにあると思います。』

田中哲氏より抜粋

一編集子

退任委員送別会

3年毎に行われる民生委員・児童委員の一斉改選における退任委員の送別会は、毎回3地区（高麗、高麗川、高萩）合同で行われてきました。しかし、今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地区毎に行うことになりました。

3地区共に11月の定例会開催時に送別会を行い、送別の昼食会を行った地区もありました。退任委員への記念品は市民児協の記念品の他、民生委員OBバツジ、花束や退任委員の在任期間別の記念品などが加えられ、各地区で贈呈にも工夫が見られました。

退任委員の皆様に対し、在任期間は一期々九期とさまざまですが、担当された地区における活動の功労に敬意と感謝を表し、課題解決に最善を尽くされたことを誇りに思います。お疲れ様でした。

(広報部会)

開催報告

西部ブロック民生委員・児童委員協議会 会長連絡会議
令和4年7月8日(金)、狭山市で「地区民児協の運営」について意見交換を行った。

第48回埼玉県民生委員・児童委員大会
令和4年9月5日(月)、さいたま会館においてコロナ禍の為、規模を縮小し、知事と会長の挨拶および表彰のみの開催となった。

令和4年度埼玉県福祉大会
令和4年11月2日、さいたま会館において開催された。

赤い羽根共同募金活動
令和4年10月1日(土)より3地区それぞれで行った。

令和4年度 第91回全国民生委員・児童委員大会
令和4年10月19日(水)～21日(金)、愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場」において開催された。埼玉県からは15名が参加した。

第36回日高市社会福祉大会
令和4年11月23日(水)、日高市総合福祉センター「高麗の郷」において受賞者参加のもと開催された。

障がい者スポーツプログラム2022
令和4年12月3日、高麗の郷において開催された。

(広報部会)

社会福祉事業への協力

10月1日、各地区ごとに赤い羽根共同募金活動を行った。

高麗地区：高麗駅前

通勤通学の慌ただしい中ではあったが、土曜日ということもあって、ハイキング客の協力も多かった。

高麗川地区：ヤオコー入口

買い物客の協力があつたが、特に子供連れの方は積極的に協力してくれた。



高萩地区：ベイシア・サイボク前
買い物客の協力が多かったが、特にサイボクでは、子供連れの方が多く積極的に募金してくれた。

(広報部会)

受賞

おめでとうございます

令和4年度民生委員及び児童委員功労賞

杉山 博行
新井 信子

優良民生委員・児童委員協議会表彰

高麗地区民生委員・児童委員協議会

全国民生委員児童委員連合会表彰
永年勤続民生委員・児童委員表彰

長尾 覚博
大沼 節子

埼玉県社会福祉大会知事表彰

上野 良子

埼玉県社会福祉大会会長表彰

前嶋 謙一郎
須藤 しのぶ
新尾 廣明
長沼 覚博
大沼 節子

日高市社会福祉協議会会長表彰

前嶋 謙一郎
須藤 しのぶ
新尾 廣明
長沼 覚博
大沼 節子

全国社会福祉協議会会長表彰

行成 美知代

コロナ禍の地域福祉活動

ごどな食堂



コロナ禍、高萩北地区では、朝日新聞販売店、中村さんの声掛け、民生委員・児童委員、包括支援センター、地域ボランティアの協力のものと「ごどな食堂」(ごどな)と「おとな」を開催しています。カレー弁当を作っています。

大人二百円、子ども五十円で提供していますが、その他にも、社協やフードバンク等からの寄付の食品なども、おみやげとして渡して大変喜ばれています。

待っている間、ご近所の方、子ども達と包括の伊藤さんのおしやべりや相談などが、情報提供で繋がったり、地域の人達の憩いの場になったりしています。

高萩地区 主任児童委員 小泉 敬子

あ тогоがき



年号が平成から令和となり、新たな3年間の任期当初から、新型コロナウイルスの感染拡大で、定期総会は書面議決となり、社会調査、定例会、社会福祉協議会の行事や研修会などの事業の多くが中止となりました。さらに訪問活動が制約され、支援が必要な方々の実情把握が困難でした。このような状況下では、部会活動を中止するなどの制限をせざるを得ず、そのため「はとつしん」76号が半年遅れとなりましたが、以降は広報部会員の工夫と努力で今期最後の80号まで発行出来ました。

ご寄稿いただいた関係各位、民生委員・児童委員の皆様や、お読みいただく皆様に心よりお礼申し上げます。

一斉改選に伴い、退任する広報部会員の一人として、在任期間最後の発行に向けて尽力出来たことに感謝するとともに、「あ тогоがき」で締めくくられることには感慨深いものがあります。

広報部員 高麗地区 北田 文子